

Borland®

Silk Central 16.5

インストール ヘルプ

**Borland Software Corporation
700 King Farm Blvd, Suite 400
Rockville, MD 20850**

Copyright © Micro Focus 2015. All rights reserved. Silk Central は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2015 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2015-09-23


目次

はじめに	4
システム要件および前提条件	4
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	5
インストール パッケージの内容	7
Silk Central のライセンス管理	8
ライセンスの扱い	8
Silk Central ライセンス ポリシーを生成する	9
ホスト ID を調べる	9
Silk Meter のインストール	9
以前のバージョンの Silk Meter をアンインストールする	9
ライセンス サーバー上へ Silk Meter をインストールする	10
Silk Meter ライセンス サーバーの構成	10
ライセンス サーバーの構成を変更する	10
Silk Central をインストールする	12
Silk Central/Silk Central Connect を評価用にインストールする	12
分散環境に Silk Central/Silk Central Connect をインストールする	13
Windows 実行サーバーをインストールする	15
Linux 実行サーバーをインストールする	16
Silk Central 16.5 にアップグレードする	16
Silk Central データベースを設定する	18
リレーショナル データベース管理システムを選択する	18
データベース	18
データベース ユーザーの権限	19
Silk Central データベースへ接続する	20
Silk Central データベースから切断する	20
既存のデータベースへ接続する	20
Silk Central 入門	21
Silk Central 入門	21
Issue Manager 入門	21
Silk Central を管理する	21
フロントエンド サーバーのロード バランシング	22
フロントエンド サーバーに対するロード バランシングの設定	22

はじめに

Silk Central は、強力で総合的なソフトウェア テスト管理ツールです。Silk Central を使用してユーザーのテストプロセスの品質および生産性を高めることにより、アプリケーション障害のリスクを低減しつつ、良好なソフトウェア プロジェクトをより迅速に提供できます。本製品は、あらゆる重要なソフトウェア テスト フェーズを、スケーラブルな Web ベースの単一テスト システム上に統合しています。これにより、ローカルそして各地に分散したソフトウェア開発チームは、経験やリソース、そして重要な情報を共有することができます。

このヘルプでは、Silk Central をインストールおよびアンインストールするために必要なすべての情報を提供します。ハードウェアやソフトウェアの各要件、さまざまなセットアップ オプションの詳細が記載されています。また、データベース アクセスを構成して Silk Central の使用を開始できるようにするための支援も提供します。


 **注:** データベース管理システム (DBMS) にアクセスできない場合は、Microsoft SQL Server Express をインストールすることができます。評価目的のローカル テスト管理データベースとして、Microsoft SQL Server Express を使用できます。Microsoft SQL Server Express は、完全なデータベース サーバー インストールと比較して、機能が制限されているため、運用環境で使用することはできません。

システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機 (ベアボーンキット、ショップ ブランド機を含む) は動作保証外です。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 6 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、データベース管理システム、Web サーバー	テスト済みおよびサポートされているソフトウェア を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

 **注:** Silk Central をエンタープライズ システムとしてインストールするには、Silk Central の各サーバーを個別のマシン上にインストールします。これらサーバーには、アプリケーション サーバー、フロントエンド サーバー、チャート サーバー、実行サーバー、および、データベース システムなどが含まれます。この方法については、『*Silk Central 16.5* インストール ヘルプ』の「カスタム インストール」に概要が記載されています。これらのコンポーネントは、好きな組み合わせで、複数のマシン上にインストールすることが可能です。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームにお問い合わせください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象アプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment (JRE) 8 が必要です。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">Google ChromeInternet Explorer 10 以降 (互換モード以外)Mozilla FirefoxMicrosoft Edge <p>制限事項: Microsoft Edge と Google Chrome は NPAPI をサポートしないため、手動テスト ウィンドウで、ビデオ録画、スクリーン キャプチャ、コード カバレッジの記録を行うことはできません。制限事項についての詳細と回避策については、SupportLine にお問い合わせください。</p>

手動テスト UI は、Java Runtime Environment (JRE) 7 Update 51 以降 が必要です。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central 16.5 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 10 (実行サーバー)

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Redhat Enterprise Linux
- Suse Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 10 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge

制限事項：Microsoft Edge と Google Chrome は NPAPI をサポートしないため、手動テスト ウィンドウで、ビデオ録画、スクリーン キャプチャ、コード カバレッジの記録を行うことはできません。制限事項についての詳細と回避策については、SupportLine にお問い合わせください。

サポートする Web サーバー

- IIS 7 32 ビット/64 ビット
- IIS 8 32 ビット/64 ビット

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 1
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)
- Oracle 12c (バージョン 12.1.0.2)

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- AccuRev 6.2
- CaliberRM 10.1、10.2
- Caliber 11.3、11.4
- Silk Performer 16.0、16.5
- Silk Test 16.5
- StarTeam 14.3、14.4
- Silk TestPartner 6.3

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System (VFS)
- Atlassian JIRA 5、6
- Atlassian JIRA Agile 6
- Bugzilla 4.4.9、5.0
- Compuware Quality Manager (Changepoint 2010 SP1、Changepoint 2009、Changepoint 2009 SP2)
- Git 2.5.0
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational RequisitePro 7.1.3、7.1.4
- JUnit 4.11 以降
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)

- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2010、2012、2013
- Rally
- SAP Solution Manager 7.1
- Serena Version Manager (PVCS) 8.1.4 (Version Manager 8.1.4)
- Subversion 1.8.5
- Team Foundation Server 2010、2012、2013、2015
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

インストール パッケージの内容

このトピックでは、インストール CD および Web パッケージに含まれているプログラムに関する概要を提供します。 Silk Central を完全インストールするためには、それらのプログラムが必要となります。 ユーザーは、**Setup** ウィザードを使用して、足りないプログラムをインストールすることができます。 コンポーネントを個別にインストールするには、以下で指定された場所から EXE ファイルを実行します。

プログラム ロケーション

Silk Meter Silk Meter を、次のフォルダからインストールします。

¥SilkMeter¥silkmeter.exe




注: Silk Meter は、インストール CD からのみインストールできます。 Web パッケージには含まれていません。

¥SilkMeter フォルダには、お使いのコンピュータに関する情報を取得するのを支援するプログラムも含まれています。この情報は、Micro Focus ライセンスを取得するためにお客様が Silk Meter にお問い合わせいただく際に必要となります

Silk Central のライセンス管理

このセクションでは、Silk Central のライセンス ポリシーの取得方法と、Silk Meter のインストール方法について説明します。Silk Meter をインストールするには、管理者権限を持っている必要があります。

 **注:** Silk Central には、Silk Meter バージョン 2008 以降と Silk Central ライセンス ポリシーが必要です。

Silk Meter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの Silk Meter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

Silk Central ライセンス ポリシーを既にお受け取りの場合には、そのライセンス ポリシーをライセンス サーバー上へインストールしてください。ライセンス ポリシーをまだ受け取っていない場合には、ライセンス ポリシーを生成します。

ライセンスの扱い

Silk Central は、さまざまな種類のライセンスを提供します。これらのライセンスは、ユーザーが Silk Central の特定の領域から入るとすぐにチェックアウトされます。

ライセンス タイプ	領域
テスト管理	このライセンスは、ログイン後に初めてテスト管理領域にアクセスしたときにチェックアウトされます。Silk Central テスト管理領域： 要件、テスト、実行計画、追跡、問題 (Issue Manager 領域を除く)、および レポート です。
手動テスト	このライセンスは、 手動テスト ウィンドウを開いたときにチェックアウトされます。 手動テスト ライセンスは、テストがオフライン実行用にダウンロードされたときにチェックアウトされます。このライセンスは結果をアップロードした時に戻されます。
問題追跡	このライセンスは、Issue Manager にアクセスしたときにチェックアウトされます。
自動テスト	このライセンスは、自動テストの実行が開始されたときにチェックアウトされます。つまり、同時実行可能な自動テストの数が制限されます。自動テスト ライセンスが利用可能でない場合は、自動テストは、キューで保留されません。自動テストの実行が完了すると、ライセンスはチェックインして戻されます。

次の点に注意します。

- **ログアウト (ユーザー > ログアウト)** をクリックすると、ライセンスはライセンス サーバーに再度チェックインされます (自動テスト ライセンスとオフライン テスト用にチェックアウトされた手動テスト ライセンスは除く)。
- ログアウトしない (およびブラウザ ウィンドウを閉じただけの) 場合、ライセンスはセッションが期限切れになったときのみチェックインされます。

バージョン情報 ページ (**ヘルプ > バージョン情報**) には、現在使用中のライセンス数と、現在ログインしているクライアントに対して利用可能なライセンス数が表示されます。

Silk Central ライセンス ポリシーを生成する

Silk Central を実行するには、有効なライセンスが必要です。Silk Central を購入すると、オンラインのライセンス生成プログラムを使用してライセンス ポリシー ファイルを生成できます。オンラインのライセンス生成プログラムにアクセスするには、Firefox や Internet Explorer などの SSL 対応ブラウザが必要です。ライセンス ポリシー ファイルの生成方法に関する指示が含まれた電子メールを受け取ります。これらの指示がなかった場合は、<http://support.microfocus.com> でカスタマー ケアにお問い合わせください。

ホスト ID を調べる

ライセンス ポリシー ファイルを得るためには、ライセンスをインストールするマシンのホスト ID を知る必要があります。フローティング ライセンスの場合は、Silk Meter がインストールされたライセンス サーバーです。ノードロック ライセンスの場合は、通常はコントローラ マシンになります。

1. マシン上でコマンド プロンプトを開いて、コマンド ipconfig/all を入力します。ネットワーク アダプタとさまざまな情報が表示されます。
2. LAN カードの MAC アドレスまたは物理アドレスであるホスト ID (00-BF-00-1C-D3-3D など) を確認します。



ヒント: 仮想マシンや VPN 接続が設定されている場合など、システムの設定によっては、コンピュータに異なる MAC アドレスを持つ複数のネットワーク アダプタが存在することがあります。物理 LAN カードのホスト ID を確認してください。

Silk Meter のインストール

Silk Central ライセンス ポリシー ファイルをお持ちの場合には、Silk Meter をインストールする際に、そのポリシーをインストールすることができます。有効な Silk Central ライセンスをお持ちでない場合は、オンラインのライセンス生成プログラムを使用してライセンス ポリシー ファイルを生成してください。

ライセンス サーバー上に Silk Meter をインストールして実行するためには、ライセンス ポリシー ファイルは必要ありません。しかし、Silk Central を実行する前に、ライセンス ポリシー ファイルをインポートする必要があります。Silk Meter **Policy Administrator**. を使用してライセンス ポリシー ファイルをインポートできます。

複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの Silk Meter ライセンス サーバーで、複数の製品のライセンス ポリシー ファイルを管理できます。

Silk Meter ライセンス サーバーの要件

Silk Meter をインストールする前に、リリース ノートを参照して、ライセンス サーバーが要件を満たしていることを確認します。

以前のバージョンの Silk Meter をアンインストールする

Silk Meter の以前のバージョンがライセンス サーバーにインストールされている場合は、最新バージョンの Silk Meter をインストールする前にアンインストールする必要があります。

1. **スタート > すべてのプログラム > Silk > Silk Meter > Uninstall** を選択します。
2. **Yes** をクリックして Silk Meter をアンインストールします。 **Remove Settings** ダイアログ ボックスが開きます。

3. **No** をクリックした場合には、Silk Meter の設定が保持されます。



注目: 現在、Silk Meter ライセンス サーバー上に存在するライセンス ポリシーを維持するには、**No** をクリックしなければなりません。

4. コンピュータを再起動します。

Silk Meter がアンインストールされ、最新バージョンの Silk Meter がインストール可能になりました。

ライセンス サーバー上へ Silk Meter をインストールする

Silk Meter をインストールする前に、以下の情報を確認してください。

- ユーザー アカウントに管理者権限があること。
- Silk Meter のインスタンスがライセンス サーバーにインストールされていないこと。

1. [製品更新サイト](#) を開いて、Silk Meter を検索します。
2. 最新の **Silk Meter インストール ファイル** をダウンロードし保存します。
3. EXE ファイルを保存した場所まで移動して、ダブルクリックします。標準インストールの場合、デフォルトのオプションで Silk Meter インストール ウィザードの指示に従ってください。



重要: セットアップによってコンピュータを再起動することを要求された場合は、コンピュータを再起動します。

Silk Meter ライセンス サーバーの構成

Silk Central のいずれのバージョンを実行する場合にも、Silk Meter をネットワーク内にあるコンピュータ上にインストールし、構成しなければなりません。

Silk Central と Silk Meter の間の通信プロセスは、次のファイルおよび変数によって設定されています。

- `SILK_CONFIG_PATH` 環境変数
- `CosLicensingService.ref` ファイル
- `CosPropertyService.ref` ファイル
- `ls_segue.ref` ファイル
- `silkmeter.cfg` ファイル



重要: これらのファイルは削除しないでください。

Silk Central セットアップ プログラムが、**Select Silk Meter License Server** ユーティリティのフィールドに入力された値を基に、これらのオブジェクトを作成します。

ライセンス サーバーの構成を変更する

Select Silk Meter License Server ユーティリティを使用して、ライセンス サーバーの設定を変更または修正します。このユーティリティは、Silk Central セットアップによってインストールされます。

1. **スタート > すべてのプログラム > Silk > Silk Central 16.5 管理ツール > ライセンス サーバー構成の変更** を選択します。**Select Silk Meter License Server** ユーティリティが開きます。
2. **Application** リスト ボックスから、ライセンス サーバーを設定する製品を選択します。
3. **Using local or remote server** オプション ボタンをクリックして、Silk Meter ライセンス サーバーを設定します。
4. **License Server Host** フィールドに、Silk Meter ライセンス サーバーのコンピュータ名を入力します。

ネットワーク管理者が別のポートを定義したのでないかぎり、**Port Number** は変更しないでください。

5. **Apply** をクリックして、ライセンス サーバーの設定をアクティブ化します。

6. **Test connection** をクリックして、指定したホスト、ポート上で Silk Meter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。接続に成功すると、**Status** フィールドに SUCCESS メッセージが表示されます。



注: 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** フィールドに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、うまくいかない場合があります。Silk Meter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

7. **Close** をクリックして、ライセンス サーバーの設定を完了します。


Silk Central をインストールする

このセクションでは、Silk Central をインストールする際に指定することのできるセットアップ オプションについて説明します。

セットアップ内容は、作成したいアプリケーション環境や利用することのできるリソースによって変わってきます。


Silk Central のインストール CD やセットアップ プログラムでは、すべての Silk Central ソフトウェア コンポーネントを、単一のコンピュータ上にインストールしたり、各コンポーネントをそれぞれ別のコンピュータ上にインストールしたりすることができます。

Silk Central をインストールするには、お使いのコンピュータ システムが最小要件を満たしている必要があります。インストール プログラムは、システムを検査して、必要なソフトウェアをオプションでインストールします。


 **注:** Silk Central をインストールするには、そのコンピュータ上で管理者権限を持っている必要があります。

Silk Central/Silk Central Connect を評価用にインストールする

作業を開始する前に、Silk Central の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Central の CD を CD ドライブに挿入します。

 **注:** Microsoft SQL Server Express インストールには管理者権限が必要なため、UAC が有効化されていると、インストールに失敗します。Silk Central/Silk Central Connect を評価用にインストールする場合は、コンピュータの UAC を無効にしてください。

スタンドアロン インストールのセットアップを行います。この場合、すべての機能が単一のマシン上にインストールされます。スタンドアロン インストールでは、Silk Central の完全なパフォーマンスは実現されません。このインストール タイプは、評価またはデモンストレーション用途のみに使用してください。

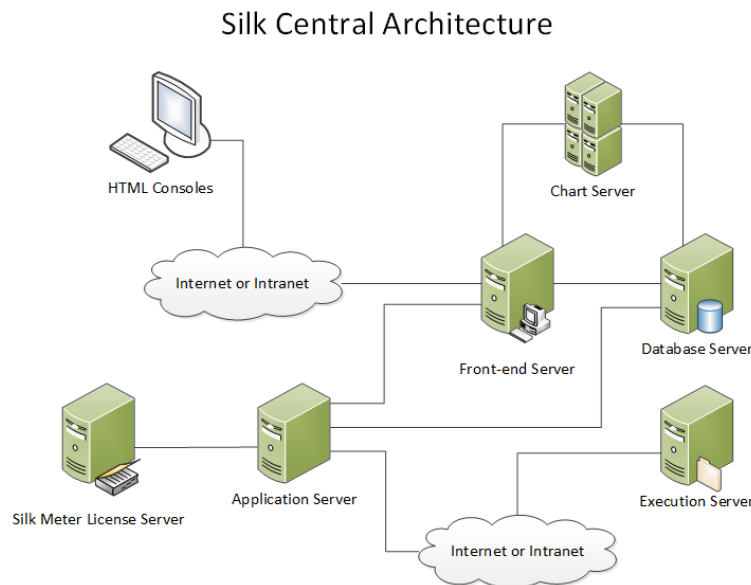
 **注:** Microsoft Windows Server 2008 R2、Windows Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1、または Microsoft Windows Server 2012 での Silk Central のインストール中は、.NET Framework 3.5 SP1 のセットアップを実行できません。システムに .NET Framework 3.5 SP1 がインストールされていない場合、オペレーティング システムが Microsoft Windows Server 2008 R2、Windows Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1、または Microsoft Windows Server 2012 であり、Silk Central の評価版をインストールする場合、Silk Central をインストールする前に、Windows Server Manager を使用して .NET Framework 3.5 SP1 をシステムにインストールします。

1. Silk Central の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。InstallShield ウィザードが開きます。
2. セットアップ ウィザードの指示に従って、すべてデフォルト設定のまま **Next** か **OK** を各ダイアログでクリックしてインストールを進めます。
3. **Select Licensing Mode** ダイアログで、デフォルト設定 (**Evaluation**) のままにします。
Silk Central にはデータベース リポジトリが必要です。評価目的の場合は、Silk Central と一緒にインストールされる Microsoft SQL Server Express を使用することをお勧めします。**Install Microsoft SQL Server 2008 Express SP1** チェック ボックスがチェックされていることを確認してください。
4. **Next** をクリックしてインストールを完了します。

分散環境に Silk Central/Silk Central Connect をインストールする

作業を開始する前に、Silk Central の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Central の CD を CD ドライブに挿入します。

Silk Central セットアップ ウィザードを使用すると、Silk Central のインストールを自在に制御できます。運用環境に Silk Central をデプロイする際には、分散環境をセットアップして、複数のサーバーに負荷を分散させることをお勧めします。



1. Silk Central の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Central の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。Silk Central セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行...** を選択し、`<cddrive>:%setup.exe` を入力して、セットアップ プログラムを手動で開始します。

InstallShield ウィザードが開きます。


2. ウィザードの Welcome ページが開いたら、ウィザードの指示に従ってセットアップ手順を進めます。**Next** をクリックし、続行します。
3. 使用する言語を選択し、**Next** をクリックします。**License Agreement** が開きます。
4. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。これらの条項に同意する場合には、**I accept the terms of the license agreement** をクリックします。**Setup Type** ページが開きます。
5. インストールする製品を選択します。

- **Silk Central** : 強力で総合的なソフトウェア テスト管理ツールです。すべての重要なソフトウェア テスト フェーズを単一でスケーラブルな Web ベースのテストシステムで一元管理します。
- **Silk Central Connect** : ローカルまたクラウド ベースの実行サーバー上で、さまざまなデスクトップおよびモバイル Web ブラウザーに対して Web アプリケーションをテストできます。

Silk Central 実行サーバーをインストールするには、**Install Execution Server** チェック ボックスにチェックを付けます。


デフォルトのインストール先は **Setup Type** ページの **Destination path** セクションに表示されます。デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。

- a) **Browse** をクリックします。**Choose Folder** ダイアログ ボックスが開きます。
- b) Silk Central をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **Setup Type** ページに戻ります。


 **注:** Silk Central は、ローカル ドライブにインストールする必要があります。無効なインストール先を指定した場合には、エラー メッセージが表示されます。

6. **Next** をクリックします。**Select Features** ページに、デフォルトの設定が一覧されます。セットアップでは、デフォルトにより Silk Central パッケージに入っているすべてのコンポーネントがインストールされます。


7. 分散環境をセットアップするには、現在のコンピュータ上にインストールするコンポーネントのチェックボックスにチェックを付けていきます。

 **注:** Silk Central は、次のコンポーネントがすべて正しくインストールされている場合にのみ、適切に機能します。

- Silk Central アプリケーション サーバーをインストールするには、**Application Server** チェックボックスにチェックを付けます。
- 64 ビット オペレーティング システム上にインストールする場合、**Front-End Server (64-bit)** にチェックを付けることができます。2 GB を超えるメモリを利用する場合は、このオプションを使用します。詳細な情報については、オンライン ヘルプの「Silk Central サーバーのメモリ設定」を参照してください。
- Silk Central チャート サーバーをインストールするには、**Chart Server** チェックボックスにチェックを付けます。

 **ヒント:** チャート サーバーは、レポート出力のリクエストを処理する際に大量のメモリを消費するため、個別のコンピュータ上にインストールしてください。

- Issue Manager をインストールするには、**Issue Management** チェックボックスにチェックを付けます。

 **注:** **Issue Management** は、Silk Central フロントエンド サーバーをインストールするコンピュータ上にインストールする必要があります。

8. **Next** をクリックし、続行します。**Installation Options Summary** ページに、選択した設定内容が一覧表示されます。

9. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。

- 設定を変更するには、**Back** をクリックして、該当するページに戻ります。
- 必要な設定をし終わったら、**Next** をクリックして、インストール処理を開始します。

Setup Status ページの進捗バーにより、インストール処理の状況がわかります。完了すると、**Select licensing mode** ページが開きます。

10 次のオプション ボタンのいずれか 1 つをクリックします。

- **Evaluation** - Silk Central/Silk Central Connect の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます (Silk Central Connect は 15 日間)。使用は、10 Silk Central ユーザーと 10 Issue Manager ユーザーに制限されています。後から、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。追加で Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 をインストールする場合は、**Install Microsoft SQL Server 2008 Express SP1** チェックボックスをチェックします。
- **Licensed** - ライセンスが必要な Silk Central/Silk Central Connect の無制限版をインストールします。

11 **Next** をクリックします。

インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて、Licensing ページが開く場合があります。ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、このページが開かない場合は、次のステップに進んでください。


ライセンス ファイルをインストールするには、次のステップを行います：

a) **OK** をクリックし、ライセンス ファイルの場所を指定します。

このライセンス ユーティリティは、ローカル システム内に、Silk Meter ライセンス サーバーの設定ファイルがあるかどうか確認します。ファイルが見つければ、ライセンス サーバーの設定とタイプ

が表示され、ライセンス管理に利用されます。設定データが見つからない場合は、**Select SilkMeter License Server** ページがデフォルトの設定と共に表示されます。


このページでは、Silk Meter ライセンス管理についての一般的な情報を提供しています。Silk Meter ライセンス管理の詳細については、**Open SilkMeter ReadMe** をクリックします。これにより、デフォルトブラウザで Silk Meter ドキュメントが開きます。

 **注:** ドキュメントがインストール ソース ディレクトリで利用できない場合は、**Open SilkMeter ReadMe** ボタンは利用できなくなっています。このドキュメントは、一般に、Silk Central Web パッケージをインストールしている場合は利用できなくなっています。

- b) **Application** リスト ボックスで、ライセンス管理を行うアプリケーションとして、**Silk Central** を選択します。
- c) 次のオプション ボタンのいずれか 1 つをクリックします。

Using local or remote server

License Server Host フィールドに、Silk Meter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。**Apply** をクリックして、ライセンス サーバーの設定を生成します。**Test connection** をクリックして、指定したホスト、ポート上で Silk Meter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがあります。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるからです。


 **注:** 場合により、**License Server Host** フィールドに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前で指定すると、うまくいかない場合があります。there is no license server running on the hostname you specified (指定されたホスト名上にはライセンス サーバーが実行されていません) というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

Not using server (standalone)

Silk Meter をスタンドアロンで実行します。Silk Meter のライセンス ファイルをインポートするようプロンプトが表示されます。**Yes** をクリックし、ライセンス ファイルの場所を指定します。

- d) **Close** をクリックして、InstallShield ウィザードに戻ります。

12 Finish をクリックしてインストールを完了させます。

 **注:** InstallShield ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で InstallShield ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Central へのアクセスに問題が発生する可能性があります。


13 前述のステップを、分散環境に加えたい他のコンピュータに対して繰り返します。

Windows 実行サーバーをインストールする

リモート Silk Central 実行サーバーとして使用する POP (Point of Presence) それぞれに実行サーバーをインストールします。実行サーバーは、Silk Central テストをリモート コンピュータ上で実行します。

1. Silk Central メニューで、**ヘルプ > ツール > Windows 実行サーバー** をクリックして、Windows 実行サーバー パッケージをダウンロードします。
2. Silk Central の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。InstallShield ウィザードが開きます。
3. インストール ウィザードの指示に従います。

4. **Finish** をクリックしてインストールを完了させます。


 **注:** InstallShield ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で InstallShield ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Central へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

Linux 実行サーバーをインストールする

このタスクは、Linux を使用する Silk Central ユーザー用です。

リモート Silk Central 実行サーバーとして使用する POP (Point of Presence) それぞれに実行サーバーをインストールします。実行サーバーは、Silk Central テストをリモート コンピュータ上で実行します。

1. Silk Central メニューで、**ヘルプ > ツール > Linux 実行サーバー** をクリックして、Linux 実行サーバー パッケージをダウンロードします。

 **注:** Linux 実行サーバー パッケージには、JRE は含まれていません。Java Runtime Environment (JRE) 8 がインストールされていることを確認してください。JRE は、[Java SE Downloads](#) からダウンロードできます。

2. 次のコマンドを使用して、パッケージ ファイル tar.gz を展開します。

```
tar xzf <PackageFileName>.tar.gz
```


ここでの PackageFileName は、LinuxExecServer にビルドまたはバージョン番号が追加されたものが入ります。


3. 次のコマンドを使用して、パッケージ ファイルを展開したディレクトリに移動します。

```
cd LinuxExecServer
```

4. 次のコマンドを使用して、実行サーバーを開始します。

```
./startExecServer.sh
```

 **注:** キャッシュ情報とログ ファイルは、お使いのホーム ディレクトリの隠しフォルダ `~/.LinuxExecServer` に保存されています。ExecServer.log ログ ファイルは、Silk Central の Web インターフェイスからもアクセスすることが可能です。

 **注目:** 現在、Linux 実行サーバーに対してサポートされているソース管理システムは、Subversion および Apache Commons Virtual File System (VFS) です。

以下の技術で作成されたテストでは、Linux 実行サーバーでの実行はサポートされません。

- すべての Silk Test 技術
- Silk Performer
- .NET Explorer
- TestPartner
- NUnit

これらのテスト タイプは、Microsoft Windows オペレーティング システムのプラットフォーム特有のもので、Linux 実行サーバーではサポートされません。

Silk Central 16.5 にアップグレードする

Silk Central の前のバージョンからアップグレードする場合、Silk Central 16.5 をインストールする前に、既存のプログラムを削除する必要があります。

1. 新しいバージョンへアップグレードを始める前に、Silk Central リポジトリまたはデータベースのバックアップ コピーを作成してください。

2. 現在インストールされているプログラムの /conf ディレクトリにある、XML ベースの設定ファイルのいずれかに変更を加えている場合、または、このディレクトリへ新しいファイルを追加している場合は、作業を続行する前に、この /conf ディレクトリのバックアップ コピーも作成してください。
3. SSL を有効化している場合、証明書ファイルのバックアップ コピーを作成してください。フロントエンド サーバーを実行しているモードによって、次のパスのいずれかに証明書を再インポートする必要があります。
 - 64 ビット モードの場合 : C:\Program Files (x86)\Silk\Silk Central16.5\lib\jre64\lib\securitycacerts
 - 32 ビット モードの場合 : C:\Program Files (x86)\Silk\Silk Central16.5\lib\jre\lib\securitycacerts


詳細については、「Tomcat Web サーバーのセキュアな接続を設定する」を参照してください。

4. Silk Central のフロントエンド サーバー、アプリケーション サーバー、およびチャート サーバーの、現在のプログラムを削除します。

前で挙げたコンポーネント群と同じコンピュータ上に、実行サーバーもインストールされている場合には、その実行サーバーのプログラムも同様に削除します。
5. データベース サーバーとして Microsoft SQL Server を使用している場合は、「スナップショット」のアイソレーション レベルを有効にする必要があります。

スナップショット アイソレーションは、リーダ/ライタ ブロッキング シナリオを回避するのに使用されます。


 - a) データベース サーバーへ接続します。

 **注:** 設定を有効にするためには、データベース サーバー上での管理者権限をもっていなければなりません。
 - b) 次のコマンドを実行します : ALTER DATABASE <your databasename> SET ALLOW_SNAPSHOT_ISOLATION ON。
6. Silk Central のフロントエンド サーバー、アプリケーション サーバー、およびチャート サーバーをインストールします。


前で挙げたコンポーネント群と同じコンピュータ上に、実行サーバーもインストールしたい場合には、他のコンポーネントと一緒に実行サーバーもインストールします。
7. ブラウザのタイトルバーにホスト名を表示させる、といった詳細設定については、テキスト エディタもしくは XML エディタ上で、新しい設定ファイルを編集します。

XML ファイルを編集する前に、必ずフロントエンド サーバーのサービスが停止されていることをご確認ください。

データベースの設定は自動的に更新されます。設定ファイルにおける詳細設定の詳細については、このヘルプの「管理」トピックを参照してください。

 **注:** 大きなデータベースの場合、データベース トランザクション ログのサイズが小さいと、アップグレード時にエラーが発生する可能性があります。エラーを回避するには、データベース トランザクション ログのサイズを 5 GB に設定します。
8. 設定ファイルを編集したら、フロントエンド サーバーを再起動してください。

サービスの開始および停止の詳細については、このヘルプの「管理」トピックを参照してください。
9. データベースに接続し、Web フロントエンド サーバーの適切な接続データを入力します。

 **注:** 既存のデータベースは、接続した際に現行バージョンへと自動的に更新されます。この処理には、データベースのサイズによっては、数分から数時間までかかる場合があります。データベースを作成したユーザーのログオン認証を使用して、データベースに接続します。
10. Silk Central 2009 SP1 より前のバージョンからアップグレードする場合は、以下の手順に従って個々の実行サーバーを手動でアップグレードする必要があります。
 - a) 現在インストールされている Silk Central の実行サーバーを削除します。
 - b) Silk Central 16.5 の実行サーバーをインストールします。
 - c) 前のステップを、各実行サーバーをインストールするたびに繰り返します。

Silk Central データベースを設定する

このセクションでは、Silk Central によってサポートされているデータベース システムの概要を提供すると共に、Silk Central データベースを作成し、接続する方法についても説明します。

リポジトリは、Silk Central システム管理者のみが設定できます。ユーザー ロールに関するさらなる情報については、この『ヘルプ』の「管理」トピックを参照してください。

リレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) をインストール、設定し、Silk Central をインストールしたら、1 つまたは複数のリポジトリを作成したり、既存のリポジトリに接続することができます。リポジトリでの作業に関するさらなる情報については、「システム管理」を参照してください。

リレーショナルデータベース管理システムを選択する

Oracle または Microsoft SQL Server を、各リレーショナル データベース管理システム (RDBMS) のドキュメントの指示に従い、インストールして設定します。

Silk Central は次のデータベース管理システムをサポートします。

- Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 1
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)
- Oracle 12c (バージョン 12.1.0.2)


 **注:**

Microsoft SQL Server Silk Central は、大文字/小文字を区別しないようにセットアップされた Microsoft SQL Server サーバーのみをサポートします。

Microsoft SQL Server Express Microsoft SQL Server Express は、完全なデータベース サーバー インストールと比較して、機能が制限されているため、運用環境で使用することはできません。

データベース

Silk Central リポジトリを作成したり、このリポジトリにアクセスする場合は、どのタイプのデータベース システムを使用するかを指定します。

 **注:** Oracle はデータベースを作成するのではなく、特定のユーザー名に割り当てられるスキーマを作成します。このため、データベース名は、Oracle のリポジトリに割り当てられるのではなく、代わりにユーザー名に割り当てられます。Silk Central は、このようなユーザー名を は、このようなユーザー名を データベース名 として参照します。

以下の表では、各データベース タイプに対する要件が記載されています。

RDBMS	用意するもの
Oracle	<ul style="list-style-type: none">• Oracle 表領域。• サーバーのホスト名とポート番号。デフォルトのポート番号は 1521 です。

RDBMS	用意するもの
Microsoft SQL Server	<ul style="list-style-type: none"> Oracle のインスタンス名 (\$ORACLE_SID)。お使いの Oracle インスタンスの名前については、Oracle の管理者にお問い合わせください。 Silk Central データベース ユーザーの名前とパスワード。ここでのユーザーは、十分な割り当て領域と権限を持っている必要があります。これについて手助けが必要な場合には、必要に応じて Oracle の管理者にお問い合わせください。 サーバーのホスト名とポート番号。 MS SQL Server のシステムユーザー名とパスワード。 Silk Central リポジトリの名前。 Silk Central データベース ユーザーの名前とパスワード。


データベース ユーザーの権限

セキュリティ リスク上、Silk Central リポジトリの維持管理にデータベースの管理者ユーザーを利用することは、推奨していません。このトピックでは、次のように、特定のタスクで使用することのできるデータベース ロールについて一覧表示します：

Microsoft SQL Server Microsoft SQL Server を Silk Central の DBMS とする場合、Silk Central リポジトリに対して次のデータベース ユーザー権限を設定します。


- db_owner
- db_ddladmin


これら 2 つのロールのいずれも、リポジトリの表の作成や設定、事前に作成されてあるデータベースでの作業、ソフトウェアのインストールや更新などが許可されています。

 **注:** Silk Central データベース ユーザーには、この両権限が必要となります。さもなければ、エラーが発生します。

Oracle Oracle を Silk Central の DBMS とする場合、Silk Central で作業するために、次の Oracle データベース ユーザー権限を設定します。

- CREATE SESSION
- CREATE PROCEDURE
- CREATE SEQUENCE
- CREATE TABLE
- CREATE TRIGGER
- CREATE VIEW

 **注:** Silk Central データベース ユーザーには、前出のすべての権限が必要となります。さもなければ、エラーが発生します。

 **注:** ここでの Oracle ユーザーは、Silk Central で作業するために、十分な割り当て領域を持っている必要があります。

Silk Central に対して Oracle DBMS を設定している場合には、Oracle の環境が次の要件を満たしているかどうか確認してください：

- 最低 2GB の一時表領域が利用可能であること。
- 一時表領域のサイズを処理するために十分なディスク領域があること。

Silk Central データベースへ接続する

Silk Central は、Silk Test Classic や Silk Performer と密に統合された、スケジュール管理や障害追跡機能を提供する、総合テスト管理ソリューションです。

Web ブラウザ、または Windows メニューから、Silk Central にアクセスすることができます。両方の方法とも、フロントエンド サーバーおよびアプリケーション サーバーのホストとなっているコンピュータ上でのみ利用可能です。Web ブラウザから Silk Central にアクセスするには、デフォルト URL `http://<コンピュータ名>:19120/login` を使用します。Windows メニューから Silk Central にアクセスするには、**スタート > すべてのプログラム > Silk > Silk Central > Silk Central 16.5 > Silk Central Home Page** を選択します。ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも `sysadmin` です。

また、Silk Central コンポーネントを、Silk Test Classic 上の組み込みブラウザ ウィンドウ内に起動することもできます。

Silk Central や Issue Manager を起動するには、Silk Central データベースに接続する必要があります。

「データベース」と「リポジトリ」という用語は同じ意味で使われることがありますが、一般にリポジトリは、データの集まりが一元的に保存され管理される場所と定義されています。Silk Central の概念モデルは、Issue Manager および Silk Central のデータが格納されるデータ リポジトリの概念モデルです。

Silk Central データベースから切断する


新しい Silk Central データベースに接続するには、まず現在のデータベースから切断しなければなりません。

1. Web ブラウザで、自分の Silk Central サイトを参照します。
デフォルトの URL は、`http://<コンピュータ名>:19120/login` (IIS 上で Silk Central を実行する場合はポート番号は不要です) です。
2. Silk Central に Silk Central システム管理者としてログインします。ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも `sysadmin` です。 **データベース** ページが開きます。
3. **切断** をクリックし、現在のデータベースから切断します。


既存のデータベースへ接続する

現在、Silk Central データベースに接続している場合には、新しいデータベースを作成する前に、現在のデータベースから切断してください。

1. Web ブラウザで、自分の Silk Central サイトを参照します。
デフォルトの URL は、`http://<コンピュータ名>:19120/login` (IIS 上で Silk Central を実行する場合はポート番号は不要です) です。
2. Silk Central に Silk Central システム管理者としてログインします。ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも `sysadmin` です。 **データベース** ページが開きます。

 **注:** Silk Central データベースに接続したことがある場合には、**データベース** ページに、以前に接続されたデータベースの情報が表示されます。デフォルト値をそのまま利用して前のデータベースに再度接続したり、別の既存データベースの情報を入力して接続することができます。

3. データベースの情報を指定または確認し、**接続** をクリックします。

 **注:** Silk Central から古いデータベースに接続すると、Silk Central は自動的にアップグレードを行います。このアップグレードには、データベースのサイズによっては、数時間かかる場合があります。実行サーバーのバージョンが不適切な古いバージョンであっても、それが *SilkCentral Test Manager 2009 SP1* よりも後である場合、その実行サーバーは最新の Silk Central バージョンに自動的にアップグレードされます。実行サーバーのリストの **情報** 列に、アップグレードに関する

メッセージが Silk Central によって表示されます。アップグレード手順が完了しない限り、そのアップグレード中の実行サーバーは使用されません。

データベース接続が確立されると、Silk Central ログオン ページが開きます。

4. Silk Central へログオンします。

ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも admin です。

Silk Central 入門

このセクションでは、Silk Central での作業を開始する方法について説明します。

Silk Central 入門

Silk Central をインストールし、Silk Central データベースに接続すると、Silk Central で管理タスクを開始できます。

Issue Manager 入門

Issue Manager リポジトリにアクセスできるようになるには、Issue Manager に対してプロジェクトを初期化する必要があります。

1. Web ブラウザで、自分の Silk Central サイトを参照します。
デフォルトの URL は、`http://<コンピュータ名>:19120/login` (IIS 上で Silk Central を実行する場合はポート番号は不要です) です。
2. ログオンします。
ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも admin です。
3. メニューで **問題 > プロジェクト リスト** をクリックします。利用可能なプロジェクトの一覧が表示されます。
4. 問題を管理するプロジェクトの **アクション** 列で、**リポジトリ設定の初期化** アイコンをクリックします。
5. 画面上の指示に従います。
詳細については、この『ヘルプ』の「Issue Manager」トピックを参照してください。

Silk Central を管理する

Silk Central をインストールした後、Silk Central データベースに接続し、Issue Manager のプロジェクトを初期化したら、Silk Central で作業するために次のアクションを行います：


- システム設定の調整
- ユーザーとプロジェクトの作成
- 場所の設定
- 製品、コンポーネント、プラットフォーム、リリース、ビルドの作成
- テスト構造の作成
- Silk Central 要件の設定
- テストの作成
- テストの計画
- 管理されているテストの実行
- 問題の追跡と管理
- 結果のレポート

リストされたアクションの詳細については、この『ヘルプ』の「管理」トピック、または Silk Central ヘルプ、Silk Test Classic ヘルプ、および Silk Performer ヘルプを参照してください。

フロントエンド サーバーのロード バランシング

ロード バランシングは複数のサーバーに大量のリクエストを分散するために使用します。ロード バランサーをセットアップして設定することにより、Silk Central の複数のフロントエンド サーバーにトラフィックを分散させることができます。ロード バランシングによって、Silk Central のパフォーマンスを大幅に向上できます。

フロントエンド サーバーに対するロード バランシングの設定

 **注:** setCurrentProject を使用する Web サービス クライアントは、ロード バランサーを使用できません。代わりに、Web サービス クライアントからはフロントエンド サーバーの 1 つに直接アクセスしてください。

いくつかのフロントエンド サーバーで負荷を分散するようにロード バランシング システムをセットアップするには :

1. すべての実行中の Silk Central サービスと Apache を停止します。
2. ロード バランサー マシン自身または分離したマシンにフロントエンド サーバーをインストールできます。ロード バランサー サーバーに、Apache Webserver 2.2 (Apache HTTP サーバー プロジェクト) をインストールします。セットアップ ファイルは、Apache Web サイトからダウンロードできます。
3. httpd.conf ファイルで、ServerName、ServerAdmin、DocumentRoot、Listen などのすべての必要な設定を行います。
4. Apache Web サイトから mod_jk*.so モジュールをダウンロードし、Apache をインストールしたディレクトリにある modules フォルダにコピーします。
5. mod_jk モジュールを読み込んで設定するように、httpd.conf ファイルに次の行を追加します。

```
#
# Load mod_jk
#
LoadModule jk_module modules/mod_jk.so

#
# Configure mod_jk
#
JkWorkersFile conf/workers.properties
JkLogFile logs/mod_jk.log
JkLogLevel info
```

6. ロード バランサー フィルターを httpd.conf ファイルに追加します。ロード バランサー フィルターは、どのロード バランサーがどのリクエストを処理するかを指定します。この例では、すべてのリクエストがロード バランサー worker に転送されます。

```
JkMount /* loadbalancer
```

7. ロード バランサー マシンで、Apache インストールの conf フォルダに workers.properties ファイルを作成し、必要に応じて設定を変更します。

```
#
# workers.properties
#

# In Unix, we use forward slashes:
ps=/
```

```

# list the workers by name

worker.list=tomcat1, tomcat2, loadbalancer

# -----
# First tomcat server
# -----
worker.tomcat1.port=19121
worker.tomcat1.host=<first_FE_Server>
worker.tomcat1.type=ajp13

#
# Specifies the load balance factor when used with a load balancing worker.
# Note:
# ----> lbfactor must be > 0
# ----> Low lbfactor means less work done by the worker.
worker.tomcat1.lbfactor=1

# -----
# Second tomcat server
# -----
worker.tomcat2.port=19121
worker.tomcat2.host=<second_FE_server>
worker.tomcat2.type=ajp13

worker.tomcat2.lbfactor=1

# -----
# Load Balancer worker
# -----

#
# The loadbalancer (type lb) worker performs weighted round-robin
# load balancing with sticky sessions.
# Note:
# ----> If a worker dies, the load balancer will check its state
#         once in a while. Until then all work is redirected to peer
#         worker.
worker.loadbalancer.type=lb
worker.loadbalancer.balanced_workers=tomcat1, tomcat2
worker.loadbalancer.method=Session

#
# END workers.properties
#

```

8. すべてのフロントエンド サーバー ホストで、server.xml ファイルのコネクタ文字列を変更します。AJP コネクタを追加し、jvmRoute を設定します (たとえば、フロントエンド サーバー 1 は tomcat1、フロントエンド サーバー 2 は tomcat2 など)。

```

<Server port="19132" shutdown="SHUTDOWN">
  <Service name="FrontendServer">
    <Connector port="19121" maxThreads="150" minSpareThreads="25"
maxSpareThreads="75" acceptCount="100" enableLookups="false" protocol="AJP/1.3"
URIEncoding="UTF-8" />
    <Engine name="FrontendServer" defaultHost="localhost" jvmRoute="tomcat1">

```

```
<Host name="localhost" appBase="../../wwwroot" unpackWARs="true"
autoDeploy="false" xmlValidation="false" xmlNamespaceAware="false" workDir="../../
cache/tcFeServerWork">
  <Context path="/" docBase="." caseSensitive="false" crossContext="true"/>
  <Context path="/silkroot" docBase="silkroot" caseSensitive="false"/>
</Host>
</Engine>
</Service>
</Server>
```

9. すべてのフロントエンド サーバーで、appserver.ini ファイルを編集して、適切なアプリケーション サーバーを指すようにします。
10. すべてのフロントエンド サーバーを開始し、サーバーが起動して実行中であることを確認します。
11. Apache を開始します。Apache ホーム ディレクトリの log フォルダに、次のファイルが作成されます : http-pid、error.log、mod_jk.log。これらのファイルが存在することを、および Apache が mod_jk モジュールを使って開始されていることを確認します。

以上で URL `http://<load-balancer-name>/silk` を使ってロード バランスしたシステムにアクセスできます。リクエストは、フロントエンド サーバーの 1 つに転送されます。フロントエンド サーバーの HTTP コネクタを無効化することで、フロントエンド サーバーにユーザーから直接アクセスできないようにすることができます。上記の URL を使ってロード バランサーにアクセスすることによって、ロード バランシング機能が使用されます。

索引

D

DBMS 18

I

IIS 13

ISAPI Web サーバー 13

L

Linux 実行サーバー 16

M

MS SQL server 18

MS SQL Server 18

MSDE 18

O

Oracle

空きディスク領域 19

一時表領域のサイズ 19

要件 18

R

RDBMS 18

S

Silk Central 21

Silk Meter

アンインストールする 9

インストールする 9

構成を変更する 10

接続のテスト 10

ライセンス サーバー上にインストールする 10

ライセンス サーバーを変更する 10

SQL 18

W

Windows 実行サーバー 15

あ

空きディスク領域 19

新しいバージョン 16

アップグレード 16

アプリケーション サーバー

インストールする 13

い

一時表領域のサイズ 19

インストール

Linux 実行サーバー 16

スタンドアロン 12

評価版 12

インストール CD 7

インストールする

Windows 実行サーバー 15

概要 4

実行サーバー 15

手順の概要 12

分散 13

か

概要

インストールする 4

さ

作業の開始

Issue Manager 21

Silk Central 21

概要 21

し

実行サーバー 15

せ

設定する

データベース 18

リポジトリ 18

ち

チャート サーバー

インストールする 13

て

データベース

作成する 20

接続する 20

切断する 20

設定する 18

タイプ 18

必要な情報 18

ユーザーの権限 19

ロール 19

データベースから切断する 20

データベースへ接続する 20

データベースを作成する 20

な

内容

- インストール CD 7
- インストール パッケージ 7

に

入門

- Issue Manager 21
- Silk Central 21

ひ

必要なアクション 21

評価

- インストール 12

ふ

フロントエンド サーバー

- インストールする 13
- ロード バランシングの設定 22

分散

- インストール 13

ほ

ホスト ID 9

ら

ライセンス

チェックアウトとチェックイン 8

ライセンス管理

概要 8

テスト接続 10

ライセンス サーバー

構成を変更する 10

要件 9

ライセンス タイプ 8

ライセンス ポリシー 9

ライセンス ポリシーの生成 9

り

リポジトリ 18

ろ

ロード バランシング

概要 22

フロントエンド サーバーに対する設定 22